

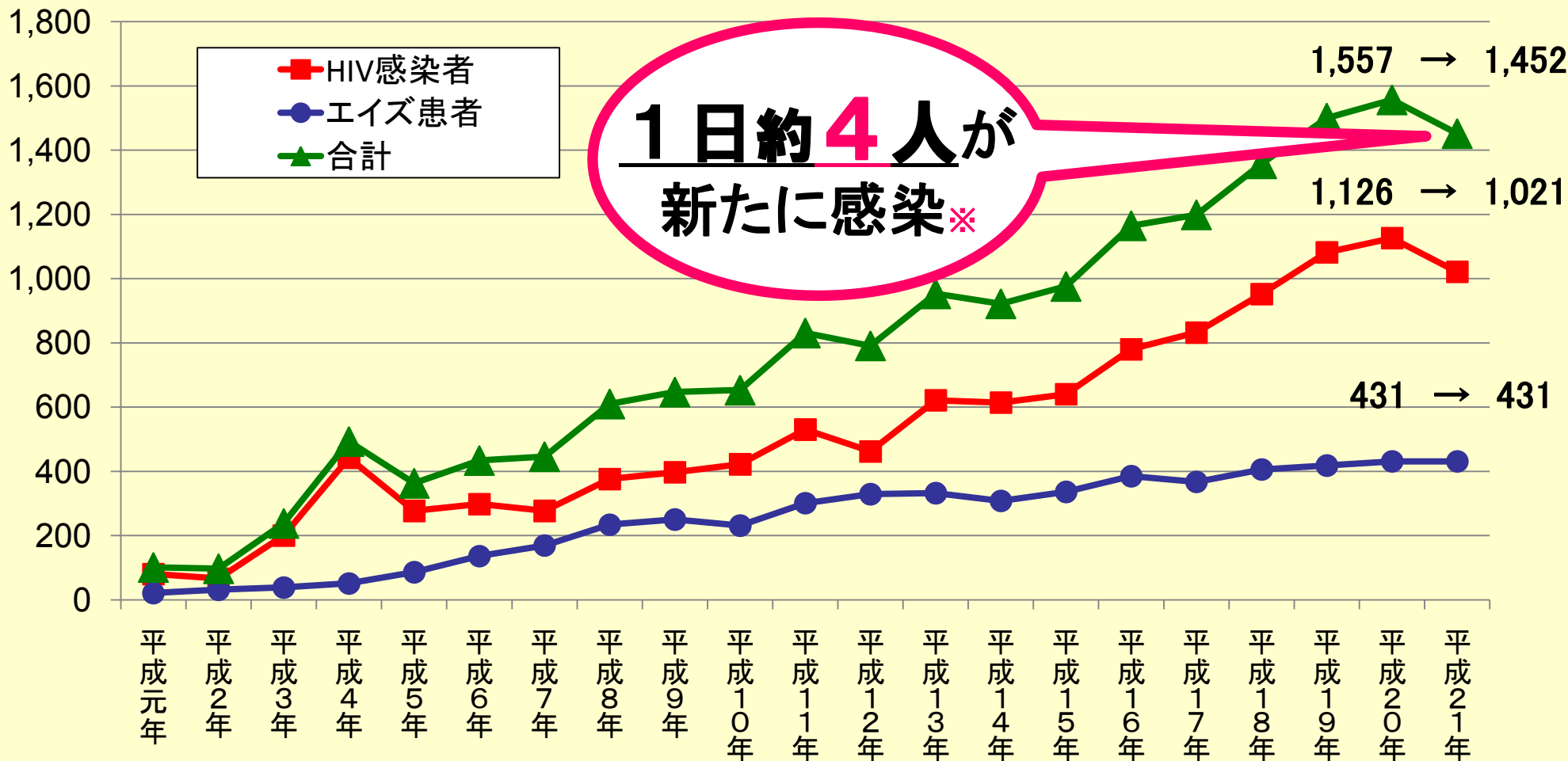
世界エイズデー 藤村副大臣記者会見資料



HIV／エイズの状態



近年のHIV感染者・エイズ患者の発生動向



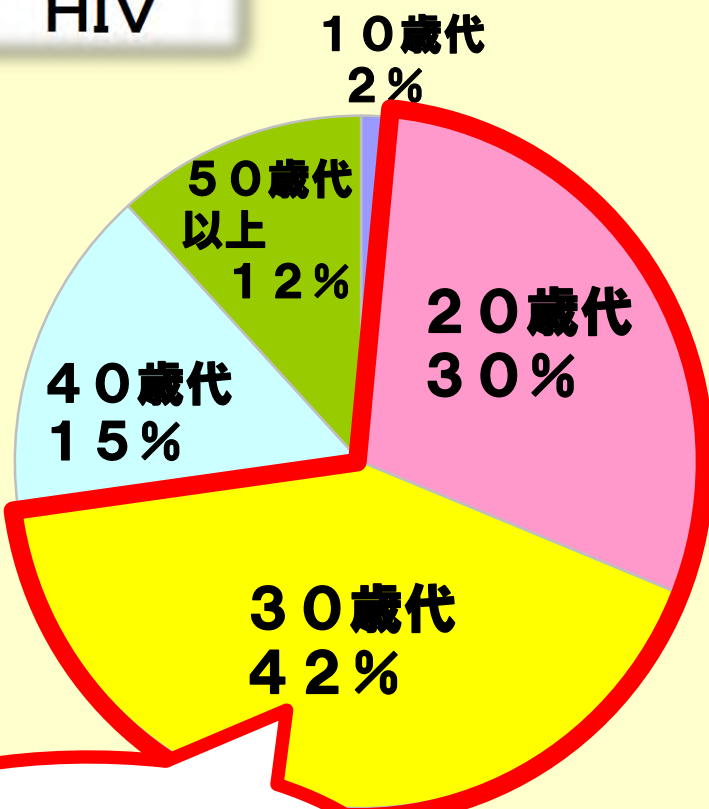
2009年エイズ動向委員会報告

※「1日約4人」は、国内において平成21年の1年間に新たにHIV感染者・エイズ患者数として報告された人数(1,452人)を年間に数で除したもの



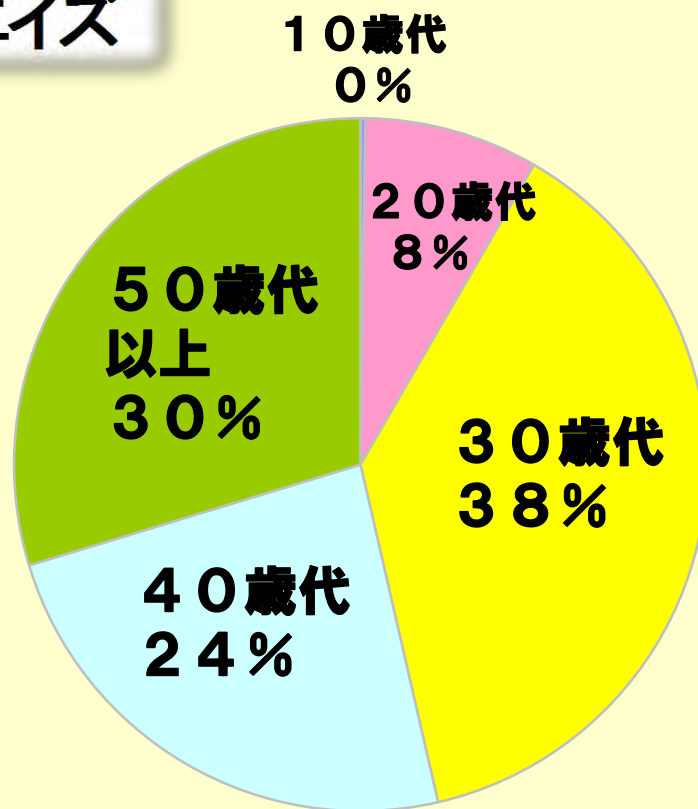
新規HIV感染者・エイズ患者 年代別内訳(平成21年)

HIV



**20~30代が
約7割**

エイズ

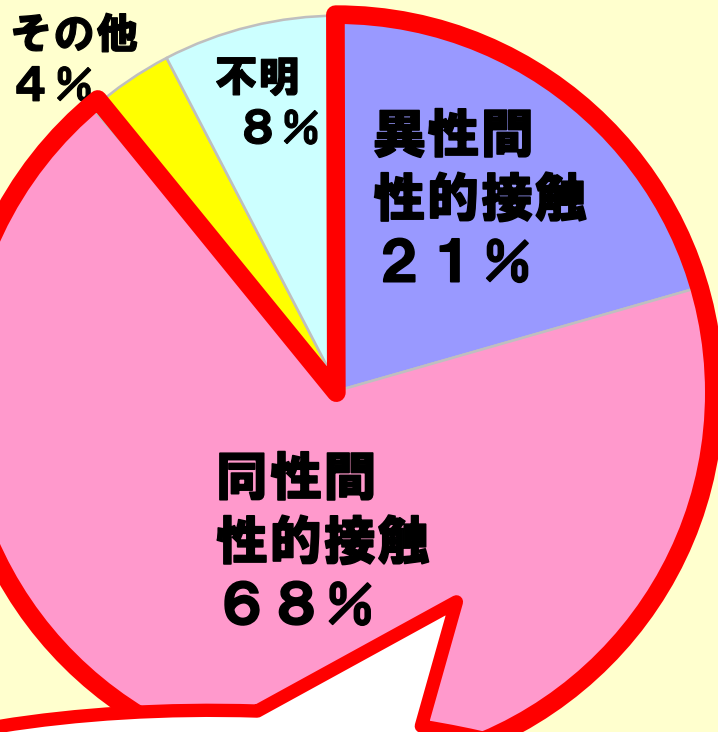


2009年厚生労働省エイズ動向委員会報告

※ 小数点第1位を四捨五入しているため、合計は100%とにならない

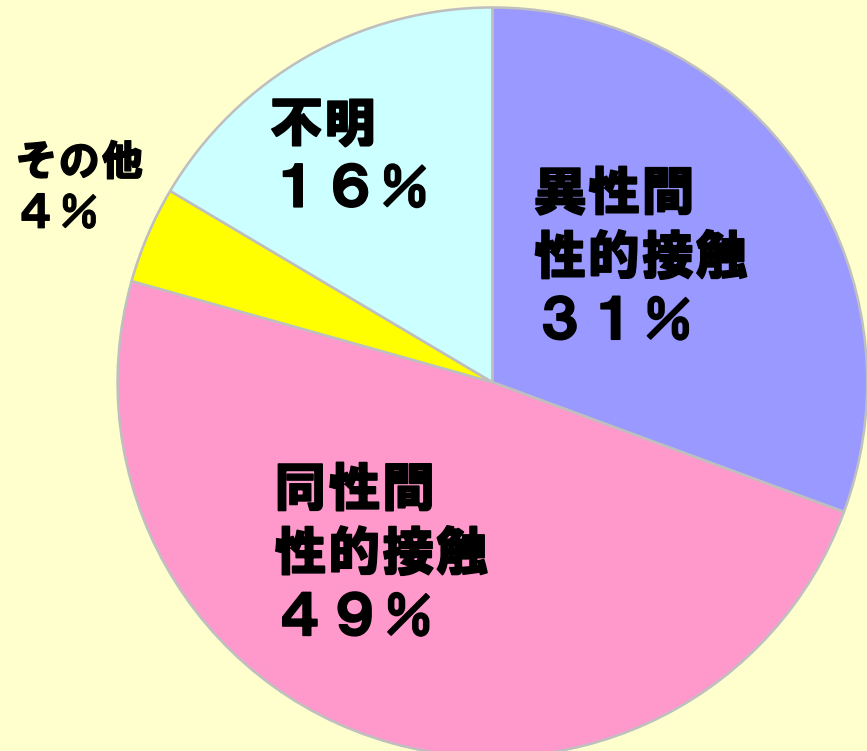
新規HIV感染者・エイズ患者 感染経路別内訳(平成21年)

HIV



**約9割が
性的接触による感染**

エイズ

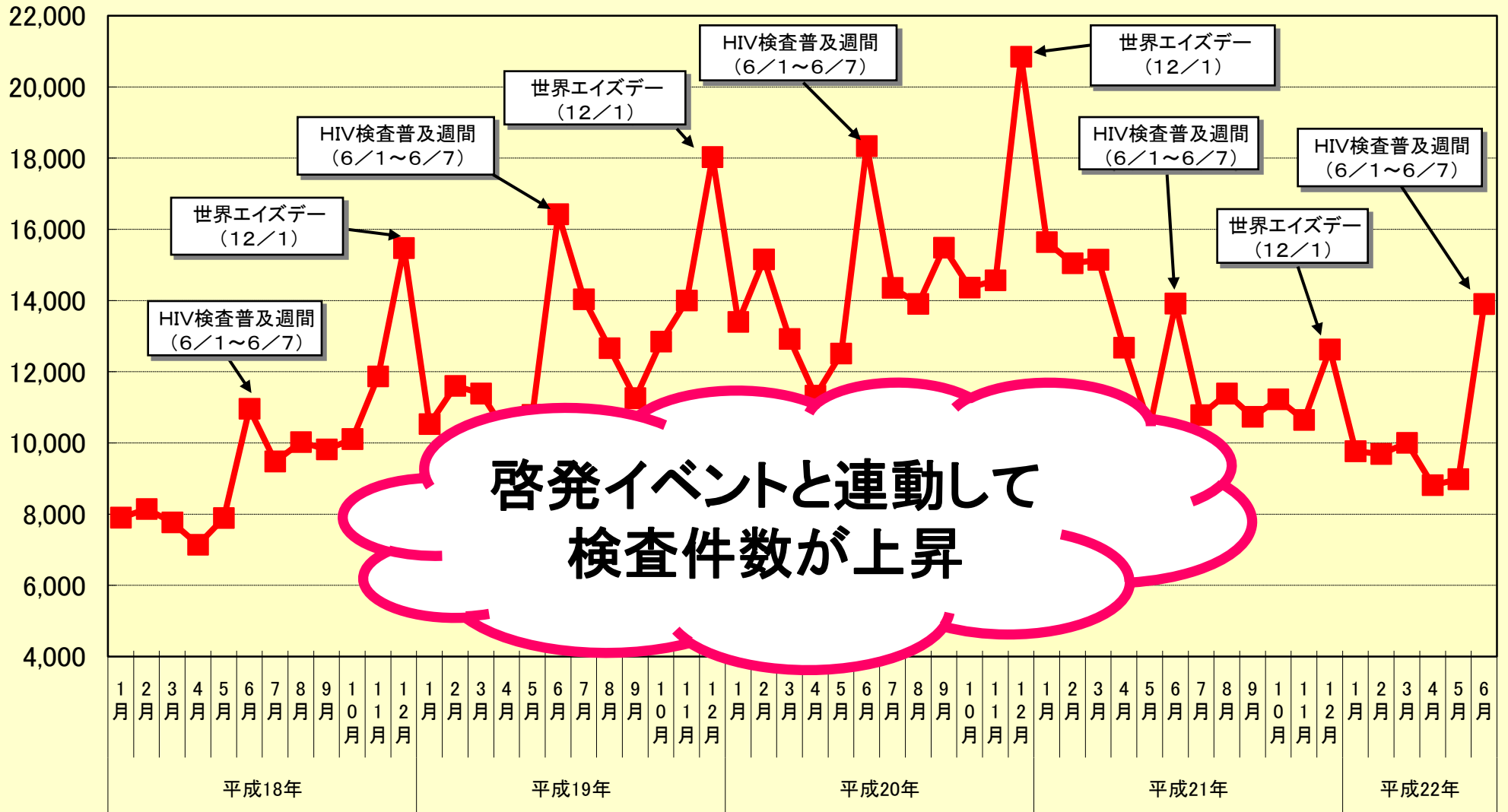


2009年厚生労働省エイズ動向委員会報告

※ 小数点第1位を四捨五入しているため、合計は100%とまらない



保健所等におけるHIV抗体検査件数の月別推移(平成18年1月～平成22年6月)





厚生労働省のエイズ施策

エイズ予防指針の3本柱

- 1 検査・相談体制 の充実**
- 2 医療提供体制 の再構築**
- 3 普及啓発 及び 教育**



厚生労働省エイズ対策関係予算(平成22年度予算額 69億円)

(1) 発生の予防及びまん延の防止

7.3億円

○具体的施策

- ・検査体制の充実
- ・HIV感染者等の相談窓口設置

○主な事業

HIV感染者等保健福祉相談事業	相談窓口にかウンセラーを配置 臨時のHIV検査を実施
エイズ患者等に対する社会的支援事業	HIV感染者向けの電話相談事業
保健所等におけるHIV検査・相談事業	保健所等において行うHIV検査

(2) 医療の提供及び国際的な連携

12.5億円

○具体的施策

- ・エイズ治療拠点病院を中心とする医療従事者への実務研修
- ・エイズ治療拠点病院間の連携強化支援

○主な事業

エイズ治療拠点病院医療従事者 海外実地研修	海外のエイズ診療の豊富な医療機関へ 医療従事者を派遣
エイズ治療拠点病院地域別病院長会議	地域の病院長が集まる会議を支援
エイズ国際協力計画推進検討事業	アジア地域のエイズ担当者の国際会議

(3) 普及啓発及び教育

14.0億円

○具体的施策

- ・ 青少年や同性愛者等への重点的な予防啓発
- ・ 世界エイズデー等でエイズ予防の普及啓発イベントやインターネットによる情報提供

○主な事業

エイズ知識啓発普及事業	エイズの正しい知識の普及
「世界エイズデー」普及啓発事業	世界エイズデー(12/1)に合わせた普及啓発事業
青少年エイズ対策事業	学校教育者向けのエイズ予防教育研修

(4) 研究開発の推進

35.4億円

○具体的施策

- ・ エイズに関する基礎医学や臨床医学、社会医学的な研究

○主な事業

エイズ対策研究	予防、治療、診断法の開発や薬剤耐性・長期療養への医療基盤作り、早期発見・早期治療につなげる研究
エイズ対策研究推進事業	外国人研究者の招へい、若手研究者の育成活用



国際貢献

国際機関



UNAIDS

JOINT UNITED NATIONS PROGRAMME ON HIV/AIDS

UNHCR
UNICEF
WFP
UNDP
UNFPA

UNODC
ILO
UNESCO
WHO
WORLD BANK

世界のHIV／エイズ情報や
各種報告書の提供等



資金拠出

日本



- UNAIDSは、国際的にエイズ対策を推進する専門的な国連機関
- 10国際機関が共同スポンサー

世界エイズ・結核・マラリア対策基金

- ▼世界基金は、2000年のG8九州沖縄サミットが契機となり、エイズ・結核・マラリアの三大感染症対策のために、2002年に設立された
- ▼日本はこれまでに約12億9千万ドルを拠出している(現時点)
- ▼本年9月のMDGs首脳会合において当面最大8億ドルの拠出を行うことを約束

●主要国の拠出状況(2010年11月現在)

	誓約金額※	拠出期限(年)	現在までの拠出	拠出順位
米国	95.5億ドル	2001-2013	51.3億ドル	1位
フランス	39.7億ドル	2001-2013	22.2億ドル	2位
日本	20.9億ドル	2001-当面	12.9億ドル	3位
ドイツ	20.8億ドル	2001-2013	12.5億ドル	4位
欧州委員会(EC)	16.6億ドル	2001-2013	12.0億ドル	5位
英国	22.6億ドル	2001-2015	11.9億ドル	6位
総額(上記以外含)	300億ドル		181.6億ドル	

※第3次増資期間(2011~2013年)向けの誓約金額を含む

世界基金が果たした役割

- 世界基金による支援全体の約6割は、エイズ対策のために使われており、また、世界のエイズに対する支援の約2割を世界基金が占めている
- 世界基金は途上国による三大感染症対策を効率的に支援し、顕著な成果を上げている



世界基金の資金を受けたプログラムにより、

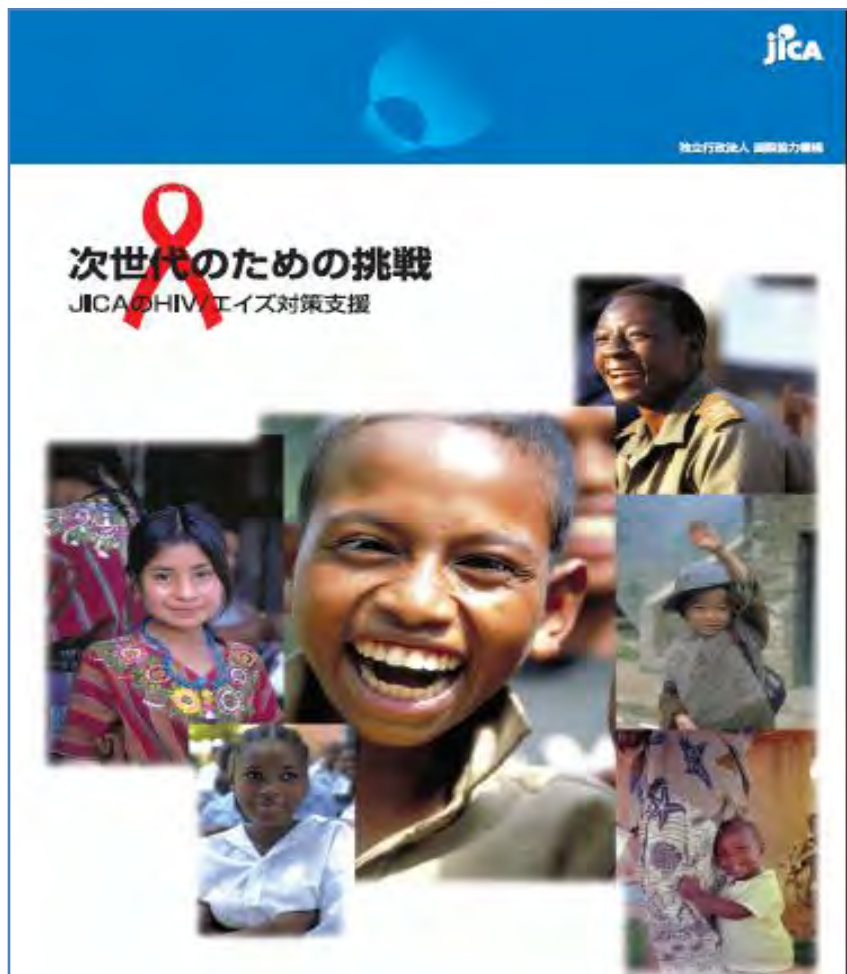
- ▼ 250万人に抗レトロウイルス治療を提供
- ▼ 79万人のHIV陽性妊婦に母子感染予防の治療、エイズ遺児やエイズによって困難な環境におかれている子どもたち延べ450万人に基本的なケアとサポートを提供
- ▼ 延べ1億500万人にHIV予防のための自発的カウンセリング・検査を提供し、18億個のコンドームを配布

(2009年12月末現在)



二ヶ国間援助

—国際協力機構(JICA)による技術協力—



出典：JICA, 次世代のための挑戦
JICAのHIV/AIDS対策支援、2008年5月

活動領域：

- HIV感染予防、包括的な自発的カウンセリング検査サービスの強化、治療体制整備支援、HIV/エイズと共に生きる人々・家族等へのケアサポートの強化、保健医療全般のシステムの強化によるHIV/エイズ対応能力の向上

具体的支援活動：

- 青年海外協力隊エイズ隊員の派遣
- HIV/エイズに関するプロジェクトの実施(教育、感染予防、HIV/エイズおよび結核対策、検査ネットワーク、輸血血液の安全確保 等)



平成22年度

世界エイズデーについて



世界エイズデーとは

目的

世界的レベルでのエイズまん延の防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図る。

経緯等

- ▼1988年、WHO(世界保健機関)が12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱
- ▼国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUN AIDS(国連合同エイズ計画)もこの活動を継承。本年度で23回目を迎える。

今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマ



続けよう

~Keep the promise, Keep your life~

- ① 仕事も生活も続けよう
- ② 抗レトロウイルス治療を続けよう
- ③ エイズの流行と闘う人達を支え続けよう
- ④ 予防と支援のメッセージを送り続けよう
- ⑤ ユニバーサルアクセスを目指し続けよう
- ⑥ 関心を持ち続けよう

▲平成22年度エイズ啓発ポスター



厚生労働省が実施する主な取組

東京でのイベント等

1 RED RIBBON LIVE 2010 [11月27日(土)17:30~21:00]

SHIBUYA-AXにおいて、様々な分野の有名人、医療専門家などによる無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信



東京でのイベント等

2 街頭キャンペーン

(1) 普及啓発イベント [11月27日(土)12:30~17:00]

代々木公園ケヤキ並木において、お笑いライブ、NGO等によるHIV普及啓発ブースを設置

(2) 街頭での配布活動 [11月27日(土)13:00~15:00]

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズを配布



3 HIV無料検査 [12月4日(土)11:00~18:00]

渋谷駅付近の特設検査場において、NGOと協力してHIV無料検査を実施

名古屋でのイベント等

1 RED RIBBON LIVE 2010 in NAGOYA〔11月21日(日)13:00~16:00〕

アスナル金山において、入場無料のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信



2 街頭キャンペーン〔11月21日(日)13:00~16:00〕

アスナル金山において、NGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布



3 HIV無料検査〔11月21日(日)11:00~16:00〕

金山総合駅付近の特設検査場において、NGOと協力してHIV無料検査を実施

その他の取組

1 エイズ啓発ポスターの掲示

普及啓発ポスターを、官公庁、地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館等に掲示

2 インターネットによる啓発及び情報提供

(1) RED RIBBON LIVE 2010の模様をUSTREAMでライブ放送

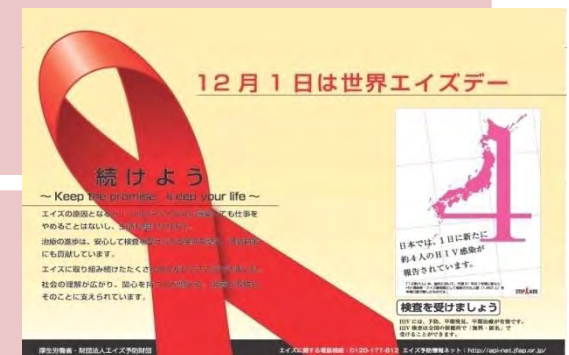
(2) Yahoo! JAPANの独自企画「レッドリボン特集2010」と連携して、啓発活動をインターネット上で展開。RED RIBBON LIVE 2010の動画は、後日Yahoo! JAPANなどで配信

(3)「レッドリボンライブ」オフィシャルサイトにおいて、今回実施するイベント情報を含め、エイズ予防啓発に係る情報等を配信

(4)エイズ予防情報ネット(API-Net) (<http://api-net.jfap.or.jp/>)において、世界エイズデー前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載

3 交通広告等の活用による啓発

JR・私鉄・地下鉄の主要路線における電車内又は駅構内での広告など、交通広告を活用した啓発活動を展開



 終わりに

**早期発見・早期治療のために
HIV検査を受けましょう！！**

HIV検査は全国の保健所・検査機関で
「**無料・匿名**」で受けることができます。

エイズ予防情報ネット (<http://api-net.jfap.or.jp/>)